

1. 事業の位置付け

事務事業名	美術教育普及活動推進事業		
事業担当	社会教育部 美術館		
予算科目	01-100506-020000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	来館者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
小中学生や親子を対象としたワークショップメニューを充実することにより、参加者が増加しています。		美術教育普及活動を推進するため、ワークショップや市民協働のアートフェアを開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ワークショップ等開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			20	30	35			
	実績			30					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	ワークショップ等参加者数						単位	人
	説明・算定式	短期コース参加者数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			600	900	1,050			
	実績			850					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
ワークショップのメニューを増やして30回の講座を行ったが、親子対象の講座はどれも好評であった。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	メニューによっては希望者が殺到し、要望にこたえるため回数を増やした。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	美術教育活動への参加意識が強いため、メニューを充実させ、事業を継続して成果を上げる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	美術教育の普及促進と実践をするためにも必要な事業である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	若手芸術家を活用して講座を充実させる。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> ワークショップメニューの充実と展覧会に関連した事業を実施する。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				ワークショップの 開催	ワークショップの 開催	ワークショップ、 アートフェアの 開催		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	839	1,837	2,300	0	0
事業費 (A)		0	0	839	1,837	2,300	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	65.96				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.65	1.65	1.65	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	13,846	13,846	13,846	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	14,685	15,683	16,146	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> ワークショップ活動で製作した作品を発表・展示する市民協働のアートフェアを実施する。	
平成21年度の実行方針	
近隣の若手芸術家等を活用した講座を行う。	
課長コメント	団塊の世代を中心とした男性も参加しやすい講座を考慮する。